

職場の衛生状態は万全か

新横浜第二 狭い更衣室と詰所 詰所の個人ロッカーもいつしか立ち消えに.. !?

地区分会は9月30日、東京、品川、新横浜各駅の組合員職場改善要求をまとめ、地本に対し今後の会社要求の題材とすべく提出した。各所共通の要求としては、今年の猛暑を繁栄してかノーネクタイ化や制服の貸与枚数やズボンの洗濯回数の増加などが目立った。また東京第三では特定時期や時間帯の多忙さを繁栄してか、専用電話の増設や作業交番、作業新横の詰所状況

私物は壁、つい立、カーベットの床上にも(つい立裏は流しと休憩場所)



ダイヤの見直しなど、新横浜第二では狭い詰所での設備上の改善要求などが目立った。

新横浜第二では10月初日現在、一般職12名中2名が長期化が予想される病

気で休んでおり、勤務操配上の問題からか東京第三からの急遽1名の転入があった。これとともにこれまでも狭く不便を迫られていた事務所更衣室や、詰所休憩室などは、乱雑野放図な管理状況から、ますます使い勝手が悪くなることが予想される。

詰所ではごく最近まで東京様の整理棚(小ロッカー)が導入される話が管理者を中心に行われていたが、それもほとんど立ち消えになってしまっている。ただでさえ狭い詰所に、多い時(出面6名時)には休憩場所さえ使わなければ腰掛けられないほどのスペースに、もはや各自が安心して私物を保管できる場所はどこにもない。いったいなぜ現場管理者は、このようなずさんな職場状況を放置したままなのか。

各所要求抜粋(東京から新横へ)

- ・ 東京駅ホーム事務室の照度確保
- ・ 遺失事務所の鉄電増設
- ・ 繁忙期の増員対策
- ・ 第三鍛冶橋事務所の本屋移設
- ・ 休憩室の拡充
- ・ 制服の倉庫保管
- ・ 旅客案内板の設置
- ・ 出退時間の見直し(東京乗客とくにE番)
- ・ 洗濯機、乾燥機の設置
- ・ 冬季コートの着用許可
- ・ 乗客、遺失込み運用の改善
- ・ 作業実態に合わせた作業ダイヤの改善
- ・ 新横浜詰所のドアの改善(重い)
- ・ 新横事務所の休憩室の改善(ブラインドかつ

起訴の検察庁判断をくつがえした小沢元民主党代表に対する検察審査会、さらには尖閣列島での中国船船長逮捕と処分保留の釈放を決定した沖縄地検まで、日本の司法制度の根幹が揺れ動いている感じだ。しかし翻ってみれば日本の司法制度の実態は世界のそれと比べてみただけでも大いに異色中の異色なのだ。これまでもいくつかの冤罪事件で日本の警察と検察庁の深刻な問題性は訴え続けられてきた。それが組織の頂点まで改めて問い直されている現状はむしろ健全な姿なのではないだろうか。

一寸五部

国家正義の砦といわれる検察庁がゆれている。郵便不正事件を起訴指揮した前田検事の懲戒免職から、不

- い立の設置)
- ・ 詰所非常口の設置
- ・ 受付カウンターの改善
- ・ 詰所換気能力の向上